



当日のスルメイカ仕掛け

▼慣れない人は取り込みでバラしにくいプランコ仕掛けがおすすめ

●Tackle Guide  
ひと潮ごとにスルメイカは大きくなるので、今後はプラズノのサイズは18センチをおすすめする。イカリングは仕掛けのヨレ防止にもなるため装着してもよいが、混雑時はオマツリの原因にもなるので、状況によって装着するか判断していただきたい。

1 投目から右舷トモの加藤さんがリールングを開始。乗った水深を伺うと170メートルとのこと。



釣り上げたのは胴長28センチのスルメイカで「人生で初イカです」と実にうれしそうだ。こちらはピンクのツノに乗っていた。

ここで潮回りとなり、「130〜180メートルを探つて」との合図に再投入すると、左舷ミヨシの今野さんとその隣の田木さんが同時にイカを乗せた。

とくに田木さんは竿の曲がり具合から多点掛けしているようで、ギョングンと竿が絞り込まれる。



▲胴長25〜30センチ級が中心

出だしは快調、今日は船上干しの長のれんができるだろうと思っていた。ところが、しばらくして二枚潮になってしまふと乗りが突然ピタリと止まってしまふ。

二枚潮を嫌ってか指示ダナの幅も15メートルほどと狭く

二枚潮に大苦戦

二枚潮を嫌ってか指示ダナの幅も15メートルほどと狭く

二枚潮の発生原因は風によるものもあるが、上層と下層の塩分濃度や温度差による場合もあり、当日は鴨川の海水温が14度と前日までより低く

初めに今野さんが1杯取り込み、次に田木さんの仕掛けが上がってきたのを見ていると、ゾロゾロと連なってスルメイカが上がってきた。海面で1杯バラれたものの見事に4点掛けを達成。

なり、底付近にイカが沈んでしまった様子。魚探に反応はあるもののまったく乗る気配がない。

●船宿information

三浦半島長井港  
**はら丸**  
☎046-856-9006  
(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=スルメイカ乗合一人9000円(水付き)、女性割引あり  
▶備考=予約乗合。出船時間 5時と6時。駐車場あり(1台100円)



原進船長

スルメイカのトップシーズンはこれから。皆さんも船上干しを作りに行き釣行してみたいかがだろう。

このような状況のため私は今回竿を出さなかったが「持っていていなさいよ」と常連さんたちから船上干しのお裾分けをもらい、おいしくいただいた。



▲東京湾口エリアのスルメイカは潮次第で大釣りのチャンスも!  
▼重量感のある手応えに多点掛けの期待が高まる



最初に到着したポイントには洲ノ崎沖の水深195メートル。潮回りを済ませると、「タナは海面から150〜190メートルです」とのアナウンスで仕掛けが一斉に投入された。

直結仕掛けの利点はサバに邪魔されにくく、仕掛けのトラブルが少ないのでツノ数を増やして多点掛けができる。難点はバラしやすく初心者には扱いが難しいこと。

# シーズン本番のスルメイカ 潮況回復後の入れ乗りに期待

●三浦半島長井港発↓洲ノ崎沖 本誌ABC(東京)鈴木良和 Yoshikazu Suzuki

に加わって情報収集を行う。「年末にスルメイカの模様よかったときに1回で22点掛けを達成した」と言う常連の今野さんの武勇伝には驚かされたが、みなさん気あいの時間を過ごし、5時になったところで船へと向かった。当日の乗船者は私を含めて7名。準備が整ったところで早めの5時半に出船。

知得! Tips and Tricks 熱中症対策は万全に

釣りをして熱中症にならないためには、日焼け止めクリームや冷水スプレー、スポーツドリンクに濡れタオルなどを忘れずに準備しよう。前日は十分な睡眠をとって健康管理に努めるのも大切。

▶飲み物は余るくらい持参したい

少し模様がよくなってきたとの情報もあり、7月2日に三浦半島長井港のはら丸へ釣友の米光さんと釣行した。

この時期のプラズノは14センチにするか18センチにするか迷うところだが、「どちらでも大丈夫ですよ」とおかみさんに言われたので両方の直結仕掛けを準備しておいた。

直結仕掛けの利点はサバに邪魔されにくく、仕掛けのトラブルが少ないのでツノ数を増やして多点掛けができる。難点はバラしやすく初心者には扱いが難しいこと。

はら丸は現在5時出船と6時出船の時間差でスルメイカ乗合を出しており、私たちが乗るのは6時の船。

乗合を出して6時、私たちが乗るのは6時の船。